

【笑気麻酔に関する同意書】 かつみ歯科口腔外科

笑気は正式には亜酸化窒素（N₂O）といい、吸入麻酔薬の一種です。呼吸や血行は抑制せず、不安感やストレスを軽減したり、痛みの閾値（いき値：痛みを感じる限界）を上昇させ痛みを感じにくくしたり、時間感覚が鈍くなりあっという間に治療が終わったように感じたりします。意識を失ったり眠ったりすることはなく、吸入させると速やかに効果を表し、中止すれば直ちに排泄されるという性質を持っています。術後帰宅が可能です。



笑気麻酔が適応な方：

手術に恐怖心や不安感がある方、
緊張で血圧や脈拍が上がってしまう方
痛みを感じやすい方
緊張や眩しさで目を強く閉じてしまう方、閉所恐怖症の方、
嘔吐反射のある方（型取りが苦手な方）
1時間以上の手術を受ける方 長時間口を開けると疲れてしまう方

笑気麻酔の流れ

- ① 診療台に寝ていただき、モニターを装着します。
- ② 鼻マスクを装着し、笑気ガスの濃度を徐々に上げ、適度な鎮静状態に導きます。通常は30%前後に保ちます。少しお酒に酔ったような気分になります。
- ③ 5分程鎮静状態を確認し、局所麻酔や治療を行います。痛みの閾値が上昇しているので、あまり痛みを感じません。
- ④ 治療中は鎮静状態が深くなるようにコントロールします。
- ⑤ 治療終了後、100%の酸素または空気を呼吸します。5分～10分程で普通の状態に戻ります。そのまま帰宅でき、特に生活の制限はありませんが、車の運転は20分程待合室でゆっくりしてから帰宅してください。

副作用

笑気ガスは体内で分解されずそのまま排出されますので、体に負担をかけることは基本的には少ないとされています。非常にまれではありますが、吐き気、四肢の脱力などの症状を感じられる方がおられます。

笑気麻酔を受けられない方：

妊娠初期 鼻閉塞、中耳炎、目の手術をされた方、気胸 ビタミン B12 欠乏症
喘息、肺気腫 過去に笑気麻酔で不快を感じた方
不安が極度に強い方 同意を得られない方

*緊張が強い方、血圧が高い方に関しては笑気麻酔では十分な鎮静効果が得られない場合もあります

その他重要事項

手術中はバイタルサインを確認しながら麻酔濃度の調整と全身管理を行っていきます。当院では、合併症予防を目的に原則術前に健康診断結果の確認や病状照会をさせていただいております。医療情報が確認できなかった患者さんに関しても、同様に慎重に管理させていただきますが、それでも予期せぬ合併症の出現やその発見や対応が遅れてしまう可能性があることを事前にご理解ください。

説明年月日【必須】： _____年____月____日

説明医師署名【必須】： _____

看護師等同席者署名： _____

私（患者）は、上記の診療行為に関する説明を受け、診療行為を受けることを同意します。

患者署名年月日【必須】： _____年____月____日

患者氏名（署名）【必須】： _____

代諾者・同席者 署名 _____（続柄： _____）

（どちらかに○をつける）